

株主の皆さまへ

平素より格別のご支援、ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
2012年度第1四半期(2012年4月～6月)のブラザーグループの連結業績を中心に報告申し上げます。

売上高は、家庭用マシンが堅調な需要に支えられ増収となったものの、工業用マシンの減収や、円高による為替のマイナス影響を大きく受け、前年同期比で減収の1,207億円となりました。

利益面は、為替のマイナス影響などにより、営業利益は115億円、経常利益は122億円と前年同期比で減益となりましたが、当四半期純利益は、税効果会計の影響に伴う法人税等の減少により、増益の103億円となりました。

ブラザーを取り巻く環境は不透明感がさらに高まっておりますが、成長の実現を目指しグループ一丸となって邁進してまいりますので、何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



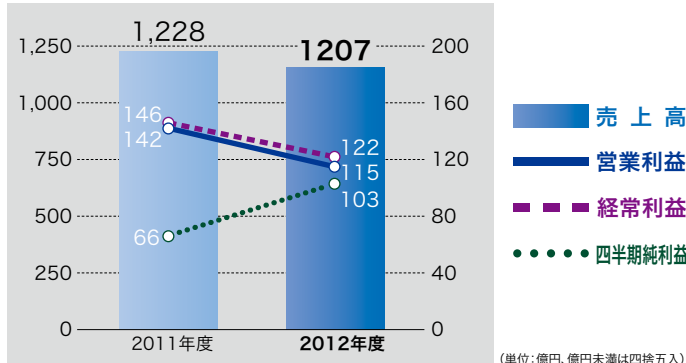
よりよい地球環境を、
あなたとともに。
www.brotherearth.com

代表取締役社長

小池利和



2012年度 第1四半期の業績概況



※2012年度第1四半期の平均為替レート：米ドル=80円、ユーロ=103円
2011年度第1四半期の平均為替レート：米ドル=82円、ユーロ=118円
(単位：億円、億円未満は四捨五入)

売上高 | 家庭用マシンが増収となったものの、工業用マシンの市況悪化に伴う大幅な減収や円高の影響を大きく受け減収
利益 | 為替のマイナス影響により営業利益・経常利益は減少したものの、税効果会計の影響に伴う法人税等の減少により四半期純利益は増益

2012年度 通期の業績予想について

2012年5月7日に発表した業績予想から変更はありません。(単位：億円)

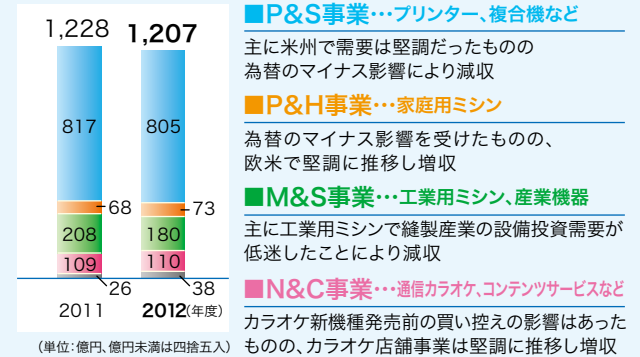
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2012年度予想 (対前年増減率)	5,300 (+6.6%)	340 (△0.5%)	350 (+1.9%)	230 (+17.8%)
2011年度実績	4,974	342	344	195

売上高 | 製品需要が堅調に推移する見通しから、増収となる見込み
利益 | 為替のマイナス影響があるものの、増収効果やコストダウン、経費の削減などにより、営業利益は前年並みとなる見通し

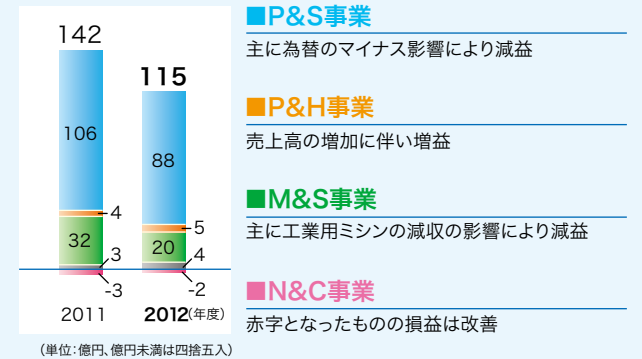
予想部分の
為替レート | 1米ドル=80円、1ユーロ=105円で変更なし

この株主通信に記載されている事項には、将来についての予想に関する記述が含まれています。実際の業

売上高 事業セグメント別



営業利益 事業セグメント別



■ プリンティング・アンド・ソリューションズ(P&S)事業 ■ ネットワーク・アンド・コンテンツ(N&C)事業
■ パーソナル・アンド・ホーム(P&H)事業 ■ その他事業
■ マシナリー・アンド・ソリューション(M&S)事業

績はこれらの見通しと異なる結果がありうることをお知らせください。

第120回定時株主総会を 開催しました

2012年6月26日(火)に「第120回定時株主総会」を名古屋マリオットアソシアホテル(愛知県名古屋市)にて開催し、過去最多となる531名の株主の皆さまに出席いただきました。



議

総会では、2011年度のブラザーグループの業績や中期戦略、東日本大震災復興支援の取り組みなどについてご説明し、質疑応答の後、議案審議では各議案とも株主の皆さまからご賛同を得て、原案通り承認可決されました。



過去最多の株主さまが出席されました

総会終了後には、株主の皆さまに当社経営陣と直接対話いただく「株主懇談会」を開催。会場内には展示ブースを設け、プリンティング機器や家庭用マシンなどに加え、新規事業のWeb会議「OmniJoin」やドキュメントスキャナーなどのサービスや製品を株主の皆さまに体験していただきました。



製品展示ブースの様子

今後も、株主・投資家の皆さまに、ブラザーをより詳しくご理解いただく機会を設けてまいります。

株主通信 第121期 第1四半期のお知らせ

※本通信は2012年3月末時点での株主の皆さまにお送りしておりますことをご了承ください。

ブラザー工業株式会社

【株主名簿管理人】三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
電話/0120-232-711(通話料無料)

①開く

ここからゆっくりはがしてご覧ください。
万一ぬれた場合は十分に乾かしてからはがしてください。



ブラザーの
環境活動

ブラザーグループでは
持続的発展が可能な
社会の構築に向け、
世界各地でさまざまな活動に
取り組んでいます。

ブラザーグループは、環境省が創設した「エコ・ファースト制度」において、プリンター業界で初めて「エコ・ファースト企業」に認定されました。



「エコ・ファースト制度」とは、環境保全に関する企業の行動をさらに促進するために、環境省が2008年4月から実施している制度です。企業が環境大臣に対して、地球温暖化対策など、自らの環境保全に関する取り組みを約束し、その目標や実現の



細野環境大臣に「エコ・ファーストの約束」を手渡す社長の小池

ための取り組みが業界のトップランナーにふさわしいと認められた場合に「エコ・ファースト企業」として認定されます。ブラザーグループは「Brother Earth」のスローガンのもと、今後も企業活動のあらゆる面で地球環境に配慮した取り組みを行っていきます。

*当社「エコ・ファーストの約束」の詳細は以下のWEBサイトをご覧ください。
<http://www.brother.co.jp/pub/news/2012/120525yakusoku.pdf>